

## H29 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	畑野町	畑野町の現状と課題について	<p>亀岡市の人口は9万人を割り込み、一部の町を除いて人口が減少していることを課題として捉えています。そこで、亀岡市は移住者を増加させることで、地域を活性化させる取り組みを進めていきたい考えです。</p> <p>畑野町の人口については、10代後半から20代にかけて学校の進学、就職等の関係により減少しており、10年後には人口が急減する可能性が高いと思われます。</p> <p>亀岡市は定住を増やす取り組みとして、空家バンクの創設、Uターン・同居・近居を補助する施策の取組みを始めるとともに、京都府の移住促進条例に基づき移住促進特別区域の指定を受ければ、空き家の利活用につながるため、ご検討いただきたいと思ひます。</p>	市長公室長	③検討	<p>移住者の増加については、京都府移住促進条例に基づく移住促進特別区域の指定を進めているところであり、畑野町におかれましても前向きにご検討いただきたいと思ひます。</p> <p>また、子育て世帯のUターンやカフェ開業などへの補助制度につきましても、積極的な活用をいただきますよう、住民の皆様への周知に御協力をお願いします。</p>
			<p>第4次亀岡市総合計画において、エリア別土地利用の基本方針として市域を区分し、計画的な土地利用を進めることを目標としており、畑野町においては森林保全を基本とした自然と触れ合うレクリエーションの場としての「緑のエリア」と広大な農地と京阪神区域に隣接した立地を生かした都市近郊農業や地産地消等の推進による都市農村交流を通じたにぎわいを創出する「実りのエリア」に位置付けています。</p> <p>第4次亀岡市総合計画の目指す都市像の実現に向け、多様な地域資源と豊かな農林資源を活用した交流機会を創出し、定住促進につながるまちづくりを推進していきたいと思ひます。</p>	企画管理部長	①実施	<p>第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～に基づき、各具体的施策を実行しています。</p>
			<p>亀岡市の世帯は住民基本台帳上では38,000世帯、推計で34,000世帯であることから、自治会の加入率は住民基本台帳上で73%、推計で平均82%のなか、畑野町は60%であることから、全体の平均を下回っている状況です。</p> <p>災害時には助け合いといった地域の繋がりが重要です。行政と地域でできる役割分担のもと、地域の繋がりを大切にしたいと思います。</p> <p>そのためにも防災訓練等によって有事の際の地域での付き合いができる環境を大切にしていきたいと思ひます。</p>	総務部長	⑥その他	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>
2	畑野町	畑野町の現状と課題について	<p>高齢化の進展ということで、平成29年7月1日時点の畑野町の人口は2,070人、高齢化率は65歳以上の方が665人で32.1%の割合、75歳以上の方が285人で13.8%であり、いずれも亀岡市の平均を上回っている状況です。5年前の平成24年時と比較すると、畑野町の人口は6月末で2,458人、65歳以上の方が554人で22.6%、75歳以上の方が236人で9.6%でした。5年間で388人減少している反面、65歳以上の111人増加している。65歳以上の高齢化率は約10%高くなっています。平成37年度の予測値では65歳以上の人口は800人と予測しており、ますます高齢化が進展すると予測しています。</p> <p>民生委員・児童委員の協力により、高齢者のみの世帯128件、一人ぐらしの世帯72件であることから、65歳以上の人口の約半分が高齢者のみで生活されている状況です。</p> <p>めざすべき高齢者対策として、団塊の世代が75歳となる平成37年度をめどに、高齢者が重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、医療・介護・予防等が一体的に提供される仕組みの構築が必要になってくると考えます。</p> <p>医療は「畑野診療所」、介護においては「やすらぎの里はたの」といったように整っていますが、畑野町内で全てのことが完結することは不可能であるため、畑野町・本梅町・宮前町・東本梅町の西部区域生活圏ごとに整備を進めることが必要と考えています。</p> <p>地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて地域共生社会を形成していただきたいと思ひます。</p>	健康福祉部長	①実施	<p>地域で生活支援体制を構築していくためには、総合事業を通じて単に介護事業を展開するのではなく、地域づくりを進めていく必要があります。そのために、既に各地域にある集いの場を見つけ、つないで、更に地域において必要とされる場合は、場の創り出しを行う。こうした一連のステップを踏んでいくことが必要と考え、現在は、地域における集い場探しを継続的に行っているところです。</p>
			<p>亀岡市内で約1,000件、畑野町で約100件の空き家を確認しています。亀岡市においても亀岡市空家等対策調整会議を設置し、空き家の利活用に向けて情報共有や事業の推進および取組み等について協議を進めているところです。</p> <p>地域生活環境の保全を図り、安全安心なまちづくりを進めていきたいと思ひます。</p>	土木建築部 施設担当部長	②実施予定	<p>こん談会時の回答のとおりです。</p>

## H29 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
3	畑野町	畑野町の現状と課題について	<p>今、ダイエットフードとして寒天が注目されている。今年から亀岡市はカフェを運営する人に補助金を出す事業を実施しておりその事業にも着目してもらえればと思います。</p> <p>また、大路地川からのシャワークライミングで珍しいヒダサンショウウオ等で子供たちの体験拠点したり、半国山に注目して危険といわれている小学校裏の傾斜地を何とかできないか、といった逆転の発想を持ってもらいたいと思います。国の文化財に指定されている法常寺の紅葉を活かしていくことや、京都府内で特Aランクとなったキヌヒカリをアピールしていくといったことが重要です。</p> <p>地域の魅力は、地域の皆さんのアイデアです。田舎にしかない魅力に都会の人は惹かれ、求めて訪れてこられます。</p> <p>その宣伝方法として、ネットを上手く活用し、アピールすることが大事であり、その活動がゆくゆくは自治会加入に繋がっていくと考えます。</p>	市長 (市長公室)	⑥その他	<p>地域の特産品を活用したカフェや飲食店の開業にあたり、施設整備や備品購入の補助金を用意しています。積極的に活用をいただきたいと考えています。</p> <p>また、移住者は、その地域にお住いの方が自分たちの住む地域を誇りに思い大切にされていることに興味を持たれますので、地域の魅力発掘に取り組んでいただき、SNSも含めたネットでの発信をされることが移住者獲得にもつながっていくのではと考えます。</p>
4	畑野町	消防分署(西部出張所)の設置について	<p>京都府下での連携はありますが、府県をまたいでの広域連携については十分に検討させていただきます。</p>	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>京都中部広域消防組合と具体的に西部4町、瑠璃溪、南丹市園部町の西部地域とをエリアに入れての検討を行い、亀岡市から救急車だけでも設置してほしいと要望しましたが、京都中部広域消防組合の見解は救急だけではなく、消防も一緒に設置すべきだという考えでした。</p> <p>亀岡市としては何とかしたいと考えており、南丹市長と協議の場を持ちましたが、南丹市は合併特例債が無くなっていくため、これから財政的に厳しくなっていくことから、なるべく消防経費を減らしたいという意向でした。亀岡市も厳しい状況ですが、住民の安全・安心を考えていきたいと思っています。</p> <p>中部広域消防組合においても考え方をまとめているところであり、そのための財源確保をどうするかについて南丹市と協議しながら進めていきたいと考えます。</p> <p>なお、東別院町見立区では、大阪府の高槻市と連携している実状があるため、畑野町民の安全度を高めるために亀岡市としても能勢町との連携について研究していきたいですが、最善策は京都中部広域消防組合で一定の調整ができればと考えています。分署については、場所をどこに設置するかという問題もありますが、財源確保および広域連携について研究を進めていきたいと考えています。</p>	市長 (総務部)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

## H29 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
5	畑野町	高齢者等要支援者の安全について	<p>平成23年3月に発生した東日本大震災における活動事例ということで、宮城県仙台市の鉤取ニュータウンでは、世帯の安否確認のため、町内の世帯全てに「黄色い旗」を配布し、有事の際には黄色の旗を掲げることで無事を知らせるという取り組みをされています。</p> <p>今年8月に実施する防災訓練において、自主防災会からの呼びかけにより地域住民の方に助け合いの取組みを協力していただき、住んでいる家の分だけ黄色い旗を渡し、その活動に協力してもらうことにより、危機意識を共有することが大事だと考えます。</p>	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>亀岡市は災害基本対策法に基づく「避難行動要支援者名簿」を配布しており、畑野町の対象者は52名。(うち、名簿情報提供に同意いただいたのは25名)そのため、亀岡市から自治会に情報提供できるのは25名分の名簿のみとなります。</p> <p>なお、自治会未加入の方については自治会では情報を持っていないことから、各地区を担当されている民生児童委員が保有している情報が鍵となりますが、この情報についてもむやみに情報提供することはできません。ここは自治会と民生児童委員が協力し、災害発生時には可能なかぎり情報公開してもらうようにご本人・家族に呼びかけられて、情報を共有し、資料づくりをされていくのも一つの方法であると考えます。</p>	健康福祉部長	②実施予定	<p>市では「避難行動要支援者名簿」を毎年更新して配布しており、畑野町自治会へは今年度25名分の情報提供を行いました。</p> <p>また、この名簿については、現在掲載されていないものの、要件に該当し支援が必要と考えられる対象の方については、各地区を担当されている民生児童委員と連携して対応することとしており、名簿の充実を図ることで、災害発生時の避難支援につながるよう努めてまいります。</p>
6	畑野町	野生有害鳥獣被害対策の強化について	<p>野生有害鳥獣対策の強化について、京都府において「特定鳥獣保護管理計画」がありますが、鹿については平成27年度推定生息頭数で約91,000頭いますが、平成33年度には半減させるべく年間26,000頭捕獲目標とし、平成28年度の実績で22,600頭を捕獲しました。このペースでいけば半減に繋がります。なお、猪については約60,000頭いますが、年間14,000頭捕獲すれば半減する見込みで、平成28年度の実績で12,000頭を捕獲しました。これにより統計的には少しずつ減少していますが、減少しているという実感がない状況です。京都府においても対策がなされ、鹿対策事業費として、今までは猟期に鹿を取っても補助対象となりませんが、20頭まで補助対象となり、亀岡市内でも600頭が対象となりました。</p> <p>また、「南丹地域野生鳥獣被害対策診断チーム」を今年立ち上げ、3市1町(亀岡市・南丹市・高槻市・能勢町)で約20地区をモデル地区として、地域に合った対応を進める考えで現在、モデル地区の募集をしています。</p> <p>広域捕獲ということで、この畑野町においても7月22日にも地域の方にお世話になる旨を回覧させていただいています。亀岡猟友会が亀岡だけで捕獲をしていますが、隣接している市町から野生有害鳥獣が来れば効率がよくないということで、能勢町猟友会と連携し、隣接部分を攻めていく方針です。</p> <p>現在、京都農業協同組合のように、市職員が狩猟免許を取得して現場に出ていくということはしていませんが、野生有害鳥獣対策について取り組みを進めているということを御理解いただきたいと思います。</p>	産業観光部 農政担当部長	⑤困難	こん談会での回答のとおりです。
7	畑野町	【質問事項等】 亀岡市環境美化条例について 畑野町は環境美化条例の中で指定されていないのではないかと	<p>亀岡市環境美化条例は、都市計画法に定める市街化区域の空き地対策の一つとして、雑草等の刈り取りをするという保全管理が目的であり、畑野町は「その他区域」であるため、当該区域には含まれていません。</p> <p>特に必要と認められた区域として指定できるのは、亀岡駅前および亀岡駅北区域の美化推進が挙げられますが、煙草のポイ捨て等を防止するエリアの条例です。</p>	健康福祉部 子育て支援担当部長 (環境市民部)	①実施 ②実施予定	<p>空き地等の雑草に対しては、条例及び要綱に基づく指導等は「市街化区域」のみを対象としています。その他の地域から寄せられる雑草等に関しても、個別に苦情・相談案件として対応しているところ。条例等の権限が十分に及ばない地域ではありますが、解決に向けて粘り強く対応していきたいと考えていますので、御理解いただきますようお願いいたします。</p>